




こしがや

『広報こしがや季刊版』は4月・7月・10月・1月の15日に発行。
季刊版のほか『お知らせ版』(毎月1日)を発行しています



10月22日、横浜市で開かれる全国女性消防操法大会に埼玉県代表として初出場する越谷市女性消防団「さくら」の皆さん

〈まちは楽しい宝島〉	こしがやを詠み こしがやに足跡を残した文人たち	2～5
特集	みんなでつくった自治基本条例	6～9
特集	写真で振りかえる消防50年史	10～13
  	粗大ごみ戸別有料収集手数料の支払い方法が変わりました	14～16
ときめき★インタビュー	デュオ・ルクレールさん	17
《イベントガイド》	サンシティ、科学技術体験センター、児童館コスモス・ヒマワリ 老人福祉センターけやき荘・くすのき荘・ゆりのき荘、越谷市民プール	18～23

『生涯学習メニューTRY(トライ)』が折り込まれています



こしがやを詠み こしがやに足跡を残した文人たち

越谷を南北に貫く日光街道。越谷は江戸時代、日光街道第三の宿場町（旅人が休憩、宿泊するための施設や人馬の輸送機関がある町場）として商業が発達し、にぎわいを見せていました。また、街道の整備が進み、江戸を中心に全国各地との交流が活発化するにつれて、この地に茶道や俳諧など多くの文芸人や学者が足を運びました。さらに、江戸近郊の宿場として、江戸の文化や学問の影響を強く受け、ここ越谷からも偉大な人物が生まれています。越谷にゆかりのある文人たち。本号では、そんな文人たちを、彼らの残した句や歌などとともに紹介します。

問合せ

広報広聴課 ☎ 963-1191-17



近世後期の越ヶ谷宿薬店の広告（諸国道中商人鑑）



旧日光街道沿いの古い家並

越谷にもこんな偉大な文人がいた！ 俳人・方言学の祖 越谷 吾山

滝沢馬琴の 俳諧の師匠

越谷吾山についてご存じの方は、多くないのではないですか。



越谷吾山

越谷吾山（本名・会田秀真、通称・会田文之助）は、享保2年（1717年）、越ヶ谷新町の会田家の生まれと伝えられています。幼年より学問を好み、特に俳諧に精通し、あの「南総里見八犬伝」を著し

しょうか。越谷吾山は、日本最初の全国方言辞典「物類称呼」を刊行し、言語学や方言学の専門家から絶賛されている人物です。

た滝沢馬琴も吾山の門弟の一人だったと言われています。吾山は名の知れた俳人を招き、たびたび句会を催していました。吾山の供養墓石がある越ヶ谷天嶽寺には、吾山の句碑が建てられています。

ひとつるべ
水のひかるや
けさの秋

若くして俳人としての地位を確立した吾山でしたが、家業を省みずに俳諧や学問に熱中し過ぎたため、家計は傾き、家を破産させるに至ったとも言われています。明和6年（1769年）、53歳のころ、妻子をともない江戸深川へ転居しますが、このとき吾山が残したとされる句があります。

出る日の
旅のころもや
はつかすみ

越ヶ谷久伊豆神社の池のほとりに句碑（市指定文化財）が建てられています。吾山が越ヶ谷の地を去るときのことと言われています。

その後、江戸へ転居した吾山は、さらに俳諧の道に精進し、のちに芸道の最高位である「法橋」に推挙されています。

わが国初の 全国方言辞典 「物類称呼」を刊行

このように、俳人として活躍した吾山でしたが、江戸という全国から人びとが集まる大都會で、地方の方言に興味をいだきます。安永4年（1775年）には、こうしたお国言葉やお国なまりを書き留め、天地・動物・言語等に分類記録した「物類称呼」という全5巻の書物を江戸で刊行しました。

当時は、現在のように交通網が発達した時代ではありません。それにも関わらず、こ

越谷の学問普及に 大きな役割を果たした 平田 篤胤

越谷と交流の 深かった平田篤胤

平田篤胤については、江戸時代後期の国学者として、日本史の授業などで学習しその名前を記憶されている方も多くいます。ここでは、この平田篤胤が、越谷地域への学問の普及に大きな影響を与えていたことをご存じでしょうか？

篤胤は江戸在住の国学者でしたが、学問の普及に努め、地方に多くの門人がいました。越ヶ谷の有力商人の中にも門人がいましたが、篤胤に対し、



「諸国方言 物類称呼」全5巻

の書物は各項目とも全国各地にわたり取材がされ、わが国初めての本格的な方言辞典となっています。さらに、世界的にも、18世紀後半にこれほどまでの方言研究書は出ていないとも言われており、吾山は「方言学の祖」と呼ばれるようになりました。



平田篤胤奉納 「天之岩戸開」の大絵馬

学問活動の経済的援助や縁談の世話をするなどその交流は深く、このことが、庶民層への学問普及にも役立つこととなりました。



天嶽寺境内の吾山句碑



越ヶ谷久伊豆神社境内の吾山句碑

こうして篤胤はしばしば越ヶ谷を訪れ、文政3年(1820年)には、越ヶ谷久伊豆神社に「天之若戸開」の大絵馬(市指定文化財)を奉納しています。また、同神社境内には、篤胤が住んだと伝えられる庵が存存し(仮寓



平田篤胤の仮寓跡

跡)、県の文化財に指定されています。

平田篤胤をたたえ 越ヶ谷を歌った 土井晩翠

越ヶ谷久伊豆神社の長い参道の途中には、明治の詩人、土井晩翠が、篤胤の功績をたたえて歌った歌碑も建てられています。

気吹の屋
いつのみ霊の宿れりし
あとなつかしき
越ヶ谷のさと

「気吹の屋」とは、平田篤胤の号(学者や文人が本名のほかに用いる呼び名。雅号・俳号といわれるもの)です。



越ヶ谷久伊豆神社参道にある晩翠歌碑

篤胤は、国学に専念して文化元年(1804年)に「真菅乃屋」という家号で国学塾を開きました。その後、門人は増加し、家号を「伊吹舎」と改名しています。

集「天地有情」を刊行し、あの島崎藤村と並び称される詩人です。また、名曲で名高い、滝廉太郎作曲の「荒城の月」の詞者ですが、篤胤がこの越谷の地に与えた影響の大きさをうかがい知ることができます。

越谷の梅を詠んだ俳人 正岡子規と高浜 虚子

大房浄光寺の古梅園

大房(現在の北越谷周辺)や大林は、元荒川が曲流する辺りに位置し、自然堤防のよく発達した地域です。古くから桃や梅の名所として知られ、文人・墨客(書や絵を書く人)が訪れ、二代目広重の名作「武

蔵越かや在」にもその様子が画かれています。

このうち梅は、古木になると梅実の収穫が減少することから、古い梅の木は伐採し、新しい苗木に植えかえるのが普通でした。そして、刈り切った梅の古木は花が美しいので、これを観光用に使うと、明治35年(1902年)、地元



歌川広重の「武蔵越かや在」(埼玉県立歴史と民俗の博物館所蔵)



絵はがきにもなった古梅園

の有志が、大房の浄光寺を中心とした地域に移植して、「越ヶ谷古梅園」を開園させました。

園内には休憩所として「あずまや」も二棟建てられ、花の季節には出店が並び、写真の「絵ハガキ」も売り出されました。また当時、東武鉄道が汽車賃の割引をするなど、越ヶ谷古梅園の宣伝に努めたので、東京などからたくさんの花見客が訪れました。なかには、明治の俳人として有名な正岡子規も訪れ、

梅をみて
野をみてゆきぬ
草加まで

という句を残したといわれています。

大正7年(1918年)、古梅園の経営は浄光寺が引き継

ぎ、昭和10年(1935年)ごろから東京の文人や俳人を招待した東武鉄道主催の園遊会が開かれるようになりました。このとき訪れた俳人、高

浜虚子は

寒けれど
あの一むれも
梅見客

の句を詠んでいます。この短冊は今でも浄光寺に保存され、境内にはこの句を刻んだ句碑が建てられています。



浄光寺境内の虚子句碑

新たな梅の名所 越谷梅林公園

その後都市化が進み、浄光寺の境内を除いて梅園は住宅



梅見客でにぎわう越谷梅林公園

に変わりました。浄光寺の古梅も次々と枯れ、現在、往時の面影はありませんが、昭和63年2月、「昔ながらの梅の名所をなんとか生かそう」との思いから、大林に「越谷梅林公園」が整備されました。

- 越谷市史(上下、資料編)
- 越谷の歴史物語(一)~(三)
- 越谷ふるさと散歩(上下)
- わたしたちの郷土こしがや
- 市制施行50周年記念誌

*市制施行50周年記念誌については、広報広聴課で実費(500円)販売も行っていきます

越谷ゆかりの作家 野口富士男



ありし日の野口富士男 (1978.9.6 奥村泰宏 撮影)

野口富士男は明治44年、東京麹町生まれ。昭和15年、29歳のとき「風の系譜」で文壇に登場しました。

代作家研究の金字塔との評価を受け、毎日芸術賞を受賞。その後も読売文学賞・川端康成文学賞・日本芸術員賞・菊池寛賞など数々の栄誉を受賞し、まさに昭和を代表する作家として文壇史に輝かしい業績を遺しました。また、昭和59年から4年間、日本文藝家協会理事長も務めています。

栄養失調症を癒しました。このころの体験が、自伝的小説「かくてありけり」のなかで書かれているのははじめ、「死んだ川」「白鷺」「川のある平野」など越谷を背景とした作品を遺しています。

文化都市越谷の 貴重な財産 野口富士男文庫

「野口富士男文庫」は平成6年、市立図書館2階のロビーに設けられました。関係者の努力により3万点以上の貴

野口は平成5年11月、82歳で永眠しましたが、著書や書簡、遺品などの貴重な資料は、作家活動を支えた妻の故郷で、自身も最も苦難の時代を過ごした越谷の市立図書館に寄贈されることとなりました。

重要な資料の整理が進められ、その一部が展示されています。

野口富士男文庫 講演会

今年「野口富士男 慶應義塾と文化学院」というテーマで、11月28日(土)、午後1時



野口富士男文庫は、図書館開館日(火曜~金曜日、午前10時~午後7時。土曜・日曜日、祝日、午前9時30分~午後5時)にご覧になれます

30分、2階視聴覚ホールで開催します。詳しくは今号折り込みのチラシ7面をご覧ください。皆様のご来場をお待ちしています。

● 特集



越谷市自治基本条例審議会 副会長
運営・調整委員会委員長
佐々木 一彦さん
元東京都足立区教育委員会教育長

「これまでの審議会の取り組みについて教えてください。」
審議会の設置に先立って行われていた、市民による勉強会での議論を参考にしながら、昨年4月から1年間、精力的な審議を続けました。自治基本条例は、市民が主体となる「自治のまちづくり」のルールを定めるもの。そのため、審議会は行政主導ではなく、白紙の状態からすべてを任せました。時間との戦いの中、集中的な審議をし、今年3月に汗と知恵の結晶としての答申を市長へ行いました。

自治のまちづくり、これからは本番

今後、どんなことを期待しますか。

「本条例の制定は「自治のまちづくり」へのスタートに過ぎません。これからが本番です。この条例が絵に描いた餅にならないよう、今後の取り組みが大事になります。具体的に、市民・議会・市長等が、条例の

目指すところを着実に推進していくうえで、それぞれの役割をきちんと果たすこと。さらに、その取り組み状況をチェックしながら、この条例が市政運営の中で有効に機能しているのかを検証し実効性を担保する、いわば「見守り隊」として、自治基本条例推進会議の設置が絶対に必要です。

「審議会に参加して、どのようなことを感じましたか。」
以前よりも越谷に対する愛着がわきました。自分のまちなのだから、何かをしたいと思うようになりましね。また、審議会では多世代の方と知り合えました。世代や立場が違えば考えもさまざまあります。まずは、越谷の「人」を知ることがまちづくりを考えることにつながるのだと思います。

若い世代もまちづくりに参加してほしい



10月1日発行の「越谷市自治基本条例のパフレット」。自治基本条例ってなに？という方、まずはこちらをご覧ください

「広報こしがやお知らせ版10月号とともに配布された「越谷市自治基本条例のパフレット」のイラストは山口さんが描いたものですね。」
大学では、美術の先生になるための勉強をして、まちアートプロジェクトでもイラストなどの作品を描いてきました。そうした経緯もあり、より親しみが持てるよう、わたしがイラストを描くことになりました。

「今後、市民の皆さんや行政にどのようなことを求められるでしょうか。」
第2章「自治の基本理念と基本原則」の中で、情報共有の原則をうたっています。市は積極的な情報公開をし、透明性を高め、市民と情報を共有していくことが求められます。市民の皆さんの側も、自治基本条例によって、自分たちがまちづくりをしていくうえで根拠ができたのですから、市政に関心をもち、今まで以上に積極的な参加を期待したいです。



イラスト：山口愛さん

越谷市自治基本条例の特徴は何でしょうか。



越谷市自治基本条例審議会 会長
櫻井 慶一さん
文教大学人間科学部
人間学科 教授

「市民目線」でつくりたい、できるだけわかりやすい条例にすることを目指してきました。条文の数は、ほかの自治体では40条以上あるところもありますが、29条にまとめ、文体についても、読みやすいように「です」「ます」体に統一しています。文章はできるだけ短くし、簡潔

市民主体の市政運営へ、一歩前進

「今後、市民の皆さんや行政にどのようなことを求められるでしょうか。」
読みやすいものをつくりました。また、自治基本条例という、理念や方向性を示すだけのものが多いのですが、越谷市の自治基本条例は第3章「豊かな地域環境の創造」の中に、豊かな人間関係づくり、自然環境の保護、歴史・文化の振興、産業の発展などを、市民が参加し、コミュニティ組織と市が協働ですすめていくと具体的に書いています。



条例の内容を検討してきた越谷市自治基本条例審議会の皆さん

特集 みんなでつくった自治基本条例

9月1日に施行された越谷市自治基本条例。自治基本条例は、市民の皆さんを主人公とした、越谷市のまちづくりのためのルールブックであり、最高規範として位置づけられています。自治基本条例ができるまでには、多くの市民の皆さんの参加がありました。今号では、条例制定に大きな役割を果たした越谷市自治基本条例審議会の皆さんにお話を伺い、その過程を振り返ります。

問合せ

企画課 ☎ 963 119112

ようなことが求められるでしょうか。

「広報こしがやお知らせ版10月号とともに配布された「越谷市自治基本条例のパフレット」のイラストは山口さんが描いたものですね。」
大学では、美術の先生になるための勉強をして、まちアートプロジェクトでもイラストなどの作品を描いてきました。そうした経緯もあり、より親しみが持てるよう、わたしがイラストを描くことになりました。



こしがや産業フェスタにブースを出展。アンケートを行うなど自治基本条例のPRを行いました(20年11月)



駅前(北越谷駅)でのPR活動。ちらしの配布やアンケートなどを行いました(20年9月)



審議会が検討してきた内容がまとめられ、市長へ答申されました(21年3月)

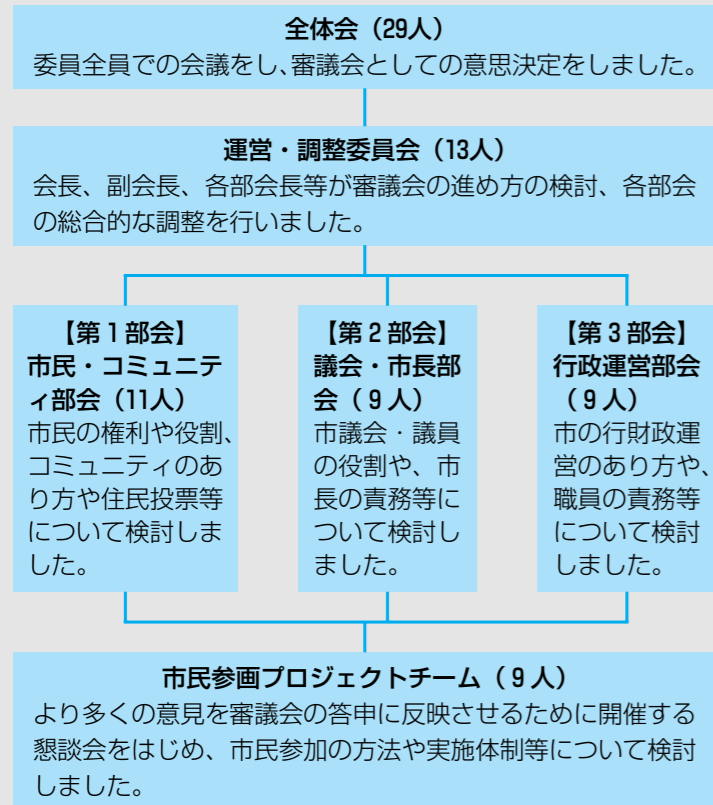


最後の開催となった第9回自治基本条例審議会(全大会)の様子(21年3月)

越谷市自治基本条例審議会の役割

審議会では、市長からの諮問に応じて、自治基本条例の内容について検討しました。

審議会の組織



さらに詳しく知りたい方は…

条例制定までの取り組みや、各条文についての解説など、ホームページでご覧になれます。

<http://www2.city.koshigaya.saitama.jp/sisei/keikauseisaku/jitikihonjorei/index.html>

議論を重ねた2年間

越谷市自治基本条例制定までの道のり

市民の皆さんを主人公としたまちづくりの重要性をうたった自治基本条例は、自治会や市民活動団体・NPOなどからも意見をいただき、多くの市民の皆さんの力でつくりあげました。

平成19年

- 7月 「(仮称)越谷市自治基本条例」制定基本方針 決定
- 8月 「自治基本条例に関する講演会」開催
- 9月 (仮称)越谷市自治基本条例に関する勉強会 開催(20年1月まで全8回)



平成20年

- 2月 「越谷まちづくりフォーラム」開催
- 3月 (仮称)越谷市自治基本条例に関する勉強会報告書を市長に提出
- 4月 越谷市自治基本条例審議会 設置
- 8月 「(仮称)越谷市自治基本条例」骨子案がまとめられる

8月～9月 骨子案に関する懇談会等の開催

- 9月 骨子案に関する意見公募手続(パブリックコメント)の実施
 - ◎4人から10件の意見をいただきました。

- 9月 自治基本条例とサクソとピアノの夕べ開催
 - ◎デュオ ルクレール(17ページ参照)が出演。デュオ ルクレールの松本ひろ実さんは審議会の委員でもあります。

平成21年

1月～2月 素案説明会等の開催

- 2月 市民が創る新たな自治のルール【素案説明&講演会】開催
- 2月 素案に関する意見公募手続(パブリックコメント)の実施
 - ◎28人から78件の意見をいただきました。
- 3月 審議会から市長に答申

- 6月 市議会で可決

- 9月 越谷市自治基本条例施行

数字で振り返る 審議会のはたらき

89回の会議を実施。29人の委員が条例の内容を白紙の状態から検討しました。

25回の骨子案に関する懇談会を開催。延べ540人が参加。骨子案とは、条例に盛り込む項目を整理したもの。

15回の素案に関する説明会を開催。延べ384人が参加。素案とは、条例のもとになる条文の案のこと。

越谷市消防 50年のあゆみ

年 月	できごと
昭和24年	・越ヶ谷小学校講堂・校舎を焼失（3月）
32年	・東武劇場火災（8月）
33年	・大沢地内で13世帯焼失（3月） ・大沢中学校校舎1棟焼失（4月） ・工場火災により死者6人、重傷者6人、軽傷者6人（10月・越ヶ谷地区）
34年10月	●消防本部、消防署を大沢1944番地に開設。職員13人、水槽付消防ポンプ自動車1台で発足
37年5月	●救急業務を開始
39年	・越ヶ谷映画劇場火災（8月）
41年	・赤山踏切で電車とバスが衝突。死者4人、重傷者3人（9月）
42年8月	●消防署庁舎新築。鉄筋コンクリート3階建
11月	●消防署に四輪ポンプ自動車を配置
43年12月	●救急車を購入し2台となる
44年4月	●県下初の女性消防士5人を採用
46年2月	●谷中分署を開署。24人を配置。屈折はしご付消防ポンプ自動車（15級）を配備
48年3月	●蒲生分署を開署。23人を配置
51年	・作業場付共同住宅火災により死者2人、負傷者5人（3月・蒲生地区）



市内で初めて配備された救急車。昭和37年5月から救急業務を開始しました

鉄筋コンクリート造3階建に新築された消防署庁舎。望楼から市内を監視していました



埼玉県で初の女性消防士が誕生し、消防業務に従事しました

写真で振り返りかえる消防50年史

市民の生命と財産を

守り続けて半世紀



昭和34年10月、消防本部と消防署を市内大沢に開設。近代消防の歩みを始めました

今から135年前の明治7年（1874年）、当時の越ヶ谷町では396戸が焼失する大火がありました。被害にあった戸数は町の約54パーセントに当たるものでした。この火災は隣接する瓦葺根村にも被害が及び80戸が焼失しました。しかし、明治初期には「消防は自警的なもの」の風習が強く、これといった消防組織もなく人々は手桶などで消火に努めるという程度でした。

明治19年12月、埼玉県は「消防組編成規則」を定めて1町村1組の消防組編成を奨励しました。この規則により、越ヶ谷・桜井・蒲生・出羽・増林・荻島・新方・川柳の各地区に近代消防組織が誕生しました。これが「越ヶ谷の消防」の始まりです。

また、27年には明治政府から消防規則が公布されました。この規則の目的は、消防行政の全国統一化と、私設消防の廃止にありました。これにより町村条令によって設置されていた消防組は公設消

防組に切り替えられました。また、消防組の指揮監督は県知事にありましたが、実際には警察署長が任務にあたっていました。

警防団から消防団へ 名称変更

昭和14年（1939年）、戦時体制強化の一環として、消防組は防護団と合体し警防団と名称を改め、防空の業務を負うことになりました。

しかし戦後、新憲法の制定に伴い消防組織を警察から分離し、地方自治体の管理下に置くことになりました。警防団は消防団に名を改め、消防業務のすべては市町村に移譲され、災害時における消防活動、報告など市町村の責任となりました。

昭和29年11月、越ヶ谷町をはじめ2町8力村が合併して越ヶ谷町が誕生し、消防組織も越ヶ谷町に移管され、消防本部ほか旧町村単位による10分団に編成されました。31

年には川柳分団が加わり11分団に再編成されました。消防備品は、自動車ポンプ車3台、三輪車ポンプ車7台、その他手動ポンプ等でした。

昭和34年10月 常設の消防本部を設置

昭和34年10月、大沢に常設の消防本部・消防署を開設しました。13人の専任消防職員が配置され、消防組織法に基づく近代的な消防組織の歩みを始めました。

現在では、防災体験コーナーを備えた消防本庁舎をはじめ1署5分署を拠点に、消防ポンプ自動車やはしご付消防ポンプ自動車などの配備、7隊の救急隊や高度な救助資器材を装備した特別救助隊を配置しています。また、119番通報のより迅速な処理を行うため、高機能消防指令装置を設置し、市民の皆さんの安全・安心を確保するために消防活動にあたっていま

●特集

年 月	できごと
平成6年7月	●高規格救急車の運用を開始
7年6月	●完全密閉型化学防護服を配備
8年9月	●群馬県高崎市などで構成する広域消防局と消防相互応援協定を締結
10年4月	●携帯電話からの119番通報受信転送体制を開始 ・住宅火災により全焼4棟、半焼1棟、部分焼3棟、ぼや3棟(11月・新方地区) ・住宅火災により部分焼1棟、死者4人、負傷者1人(12月・荻島地区)
13年12月	●消防本庁舎の建て替え工事に着手 ・作業所火災により全焼9棟、部分焼1棟、ぼや3棟(3月・大沢地区) ・作業所火災により全焼6棟、部分焼3棟(6月・出羽地区) ・長屋住宅火災により半焼1棟、死者4人、負傷者8人(11月・大袋地区)
15年3月	●防災体験コーナーを備えた新しい消防本庁舎が完成
16年7月	●新潟・福島豪雨災害に緊急消防援助隊員を派遣
10月	●新潟県中越地震に緊急消防援助隊員を派遣
17年4月	●初の女性消防団員9人を採用
10月	●自動体外式除細動器(AED)を消防署、蒲生分署に配備
18年3月	●大袋分署の新庁舎が完成 ・複合用途(特定)建物火災により全焼1棟、部分焼1棟、ぼや2棟、死者1人、消防職員4人負傷(1月・蒲生地区)
21年6月	●蒲生分署の建て替え工事に着手



高規格救急車には救急救命士も同乗し救命率の向上を図りました



防災体験コーナーを備えた新消防本庁舎が完成



越谷市の消防50年を記念して開催されたキッズフェスティバル

写真で振りかえる消防50年史

年 月	できごと
昭和52年3月	●訓練塔付の間久里分署を開署。25人を配置 ・一般住宅のガス爆発により30棟が被害を受ける(3月・新方地区)
54年6月	●テレホンサービスシステム(5回線)を導入し、消防情報の提供を開始 ・住宅火災により3棟全焼、1棟半焼、死者1人(11月・出羽地区)
55年	・長屋住宅火災により1棟7世帯および住宅など3棟が全半焼。45人が焼け出される(3月・荻島地区) ・住宅火災により4棟全半焼のほか5棟が罹災、死者1人(4月・蒲生地区) ・住宅火災により死者2人、負傷者2人(7月・新方地区)
56年2月	●間久里分署に35級はしご付消防ポンプ自動車を配備
58年4月	●本署、谷中分署を3部勤務体制とする
12月	●大相模分署を開署。37人を配置
59年10月	●蒲生分署、間久里分署、大相模分署を3部勤務体制とする ・工場火災により全焼3棟のほか5棟が罹災(2月・大相模地区) ・住宅火災により5棟全焼、30人が罹災(11月・新方地区)
63年6月	●市内初の幼年消防クラブが結成
平成2年9月	●救助工作車Ⅱ型を間久里分署に配備
11月	●市内初の婦人防火クラブが結成
4年4月	●消防音楽隊を結成
5年11月	●初の救急救命士が誕生

市内3カ所目となる訓練塔が設置された間久里分署



マンションなどの高層化に対処するため配備された35級はしご車



はっぴをまとった幼年消防クラブの園児たち。市民パレードなどで防火運動をPRしています

粗大ごみ戸別有料収集手数料の支払い方法が変わりました

	8月31日まで	9月1日から
収集料金	大きさや重さで100円から2,800円に分類	大きさで400円・800円・1,200円に分類(ただし、スプリング入りマットレスは2,800円)の4分類
支払い方法	収集時に集金(不在時は後日納付書払い)	前払い…コンビニエンスストア等で納付済券(シール)を購入し、粗大ごみに貼る

*スプリング入りマットレスは、直接リサイクルプラザにお持ち込みになる場合も、1,600円のシールが必要となります
*スプリング入りマットレス以外は、直接リサイクルプラザにお持ち込みになると費用は無料です

粗大ごみを出すときは、予約が必要です。

リサイクルプラザ
粗大ごみ専用 ☎973-5300

受付時間 月曜～金曜日
(年末年始・祝日を除く) 8:30～17:00



① 申込み

- 収集品目の種類と大きさ等と、出す場所の確認をします。シールの枚数、購入方法、貼り方、収集日についてご案内します。
- ***たんす等の家具類は、あらかじめ大きさを確認してからお申込みください**

② 準備

- 申込みの際に指定された枚数のシールをシール取扱店にてお求めください。
- シールに必要な事項を記入し、品物一点ごとに必要な枚数を見えるところに貼ってください(詳しくは次ページの「シールを貼る際の注意事項」をご覧ください)。

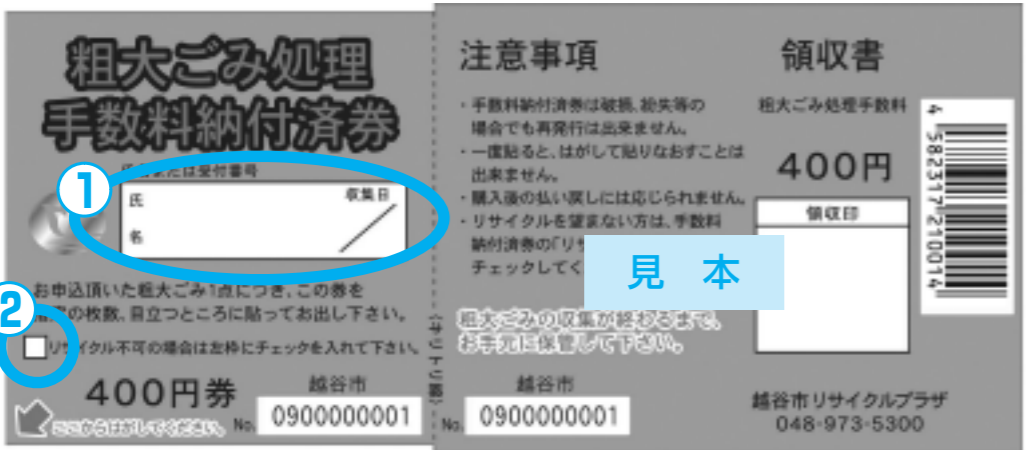
③ 収集

- 収集日の朝8時までに、決められた場所に出してください。
- 貼付シールの確認をして収集します。
- ***予約のない品物は、シールが貼ってあっても収集しません**

*収集時間や対象となる品物・品数・引き取りできない品物は、今までと変更ありません。ごみ収集カレンダーにある粗大ごみの分け方・出し方をご確認ください

シールを貼る際の注意事項

① 名前と、予約時にお伝えした収集日を記入欄①に記入してください。



*シールの種類はこの400円券1種類です。800円の場合は2枚貼ってください

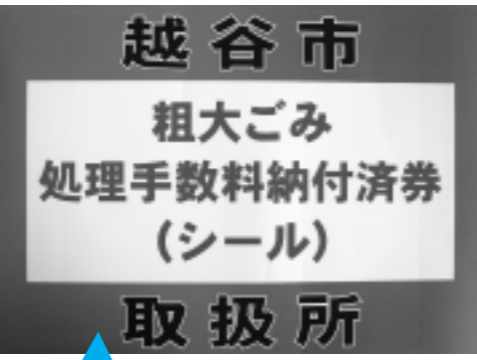
- ② 再生可能な家具・自転車はリサイクルさせていただく場合があります。リサイクルを望まない方は、シールの「リサイクル不可」のボックス②にチェックをつけてください。
 - ③ シールは2枚に分かれますので、「納付済券」と書かれたほうを貼ってください。残りの半券は領収書となっていますので、収集が終わるまでお手元に保管してください。
 - ④ シールは一度貼ると貼り直すことができません。一度貼ったものはがそうとすると、シールが破れ一部が品物に残るように加工してあります。そのため、裏側の一部(濃い緑色の部分)には、できるだけ触れないようご注意ください。
 - ⑤ いったんお求めになったシールやすでに貼られたシールの払い戻し、再配布はできません。
 - ⑥ シールの金額が足りない場合や貼られていない場合は、その旨を記載した連絡票を郵便受けに入れますので、改めてお申し込みいただき、適正な枚数のシールを貼り付けてお出しください。また、シールの枚数が多い場合は収集はいたしますが、超過分の返金はできません。
- *申込み時に必要枚数をご確認ください



シールの販売場所

販売場所でのシール枚数等の説明はしませんので必ず予約の際にご確認ください。

場所	曜日	時間
市役所環境資源課	月曜～金曜日 (祝日・年末年始を除く)	8:30～17:15
リサイクルプラザ(業務施設)	月曜～金曜日 (祝日・年末年始を除く)	8:30～17:00
リサイクルプラザ(啓発施設)	火曜～日曜日 (祝日・年末年始を除く)	9:00～17:00
北部・南部出張所	月曜～金曜日 (祝日・年末年始を除く)	8:30～17:15
市内セブンイレブン・サークルKサンクス・ファミリーマート・スリーエフ・ローソン(一部の店舗)・セイコーマート(一部の店舗)	無休 (*店舗によります)	24時間 (*店舗によります)



取り扱い場所にはこのステッカーが貼ってあります。

リサイクルプラザの講座に参加してみませんか？

リサイクルプラザ啓発施設は、平成19年11月にオープンした施設で、市民のリサイクル意識啓発を目的に作られました。ごみとして捨てられてしまうものも、修理して使ったり、少し手を加えて別のものとして使うことができるということを感じてもらうため、リサイクル関連講座も開催しています。今まで開催した講座をご紹介します。

包丁とぎ

大人気の講座です。三徳包丁を持ち込み、研ぎ方を教わり、自分で研ぐことができます。



エコクッキング

料理をしながら、ごみを少なくする野菜の切り方、効率的なガスの使い方、水を節約した洗い方などを学びます。



紙すきはがき

牛乳パックの紙をほぐして繊維にし、すき枠を使ってはがきにし、暑中見舞いを作ります。



エコバッグ

使えなくなった傘から布を外し、エコバッグを作ります。自分で作ると愛着を持って長く使うことができます。



「3R」を実行していますか？

1. **REDUCE (リデュース) 発生抑制**
すぐにごみになるものを買わない
2. **REUSE (リユース) 再使用**
繰り返し使えるものを使う
3. **RECYCLE (リサイクル) 再生利用**
可能なものは分別して資源としてリサイクルします

*この順番も重要です。リサイクルする前に自分にできることはないか生活の中で考えてみましょう

このような講座を通して皆さんも自分の生活スタイルを見直してみませんか？

今後開催する講座については、毎月の広報等でお知らせしていきます。

問い合わせ

リサイクルプラザ啓発施設（砂原355）
☎976-5371
（休館日：月曜日・祝日・年末年始）

ときめき インタビュー



…プロフィール…

松本ひろ実(サククス)(右) / 越谷市出身。大相模小、東中、春日部女子高を経て、国立音楽大学、ウィーン国立音楽大学を卒業。
松本修一(作曲・ピアノ)(左) / 兵庫県生まれ。両親の都合で転勤を繰り返し、2003年より越谷に在住。尚美学園短期大学卒業後、ドイツ・ハンブルクにて作曲を学ぶ。
東京、横浜、埼玉、千葉、長野を中心に、コンサートやイベント、ホテルでの演奏、プラネタリウム・コンサートのプロデュース、各地方自治体の生涯学習講座への出演など、多方面で活躍中。また、美術館コンサートや多分野のアーティストとのコラボレーションにも積極的に取り組む。

音楽を通じて

多くの人と出会いたい

「サククスとピアノのロマンティックサウンド」をキャッチフレーズに、映画音楽からジャズ、クラシック、ポップス、オリジナル曲まで幅広いレパートリーを、抜群のテクニクと華麗なサウンドでこなす「デュオ ルクレール」。

ピアノistで作曲家の松本修一さんと、サククスプレイヤーのひろ実さんと、ご夫婦のデュオで、結成されたのは、二人が同じ事務所に所属していた94年。当初はお互いに別々の活動をしていましたが、理解を深めるにつれ一緒に活動する機会が増え、99年に二人で独立舞台芸術団体「ミュージック・カンパニープロジェクト「M」」を結成し、同時に「ルクレール」の活動も本格化。現在は、年間80ステージをこなします。

「楽しくなければ音楽じゃない！」と笑顔で語るひろ実さん。これは、ひろ実さんがウィーン留学時代にスロベニア人の恩師から教わったことだそうですが「難しい音楽や気取った音楽は自分たちの目指すものではないし、何より

音楽を続ける一番の理由は、より多くの人と出会うためです。コンサートでも「会場に足を運んでくれるお客様とじかに触れ合い、いつも同じ目線でありたい」と言います。

「ルクレール」とは、フランス語で「光」。二人の音楽に対する姿勢は、まさに闇夜を照らす明るさと、アットホームな温かさを感じさせるものでした。

越谷の印象

「昔に比べると、都心へのアクセスが格段によりよくなりましたね」とひろ実さん。一方、ご主人の修一さんは、6年前に越谷へ転居してきたときの印象を「越谷へ来て何より驚いたのは、心を癒される自然が身近にたくさん残っていたことです。以前は東京の住宅地に住んでいましたから、曲作りから解放されると決まって郊外の自然の中へ出かけていました。でも、越谷へ来てからは、わざわざ遠くまで出かけなくてもすぐそこに自然がある。それが何よりありがたいですね」。「水郷こしがや」に残る自然の風景は、曲作りをする修

一さんにとって癒しの場になっていくようでした。

越谷を

音楽のあふれる街にしたい

「デュオ ルクレール」は、3月にサンシティホールで行われた、市制施行50周年記念ファイナルイベントコンサートに参加。また、ひろ実さんは、9月1日に施行された越谷市の自治基本条例の策定にも公募委員として関わりました(6ページ参照)。きっかけは「越谷市をもっと文化的に、音楽のあふれる街にしたい」という思い。「決まったときに決まった場所へ出かけなくては音楽と触れ合えない」というのでは、本当の文化は育たないのではないのでしょうか。音楽も自然と同じようにもつと身近に触れることができるようにしたい。

そして、この思いを実現すべく、現在、市内在住の音楽家とのネットワーク作りや、各方面への働きかけに奔走しています。

「施設のロビーなどちよっとした空間でいいんです。子どもからお年寄りまで気軽に足を運べて音楽に触れてもらえるような、そんな「空間」をいっぱい作りたいです。街角

楽しむことこそが音楽。もつと気軽に、もつと多くの人と楽しさを共有できる場を。

に音楽があふれ、道行く人がちよつと足を休め、自分たちの音楽を聴いて心を癒してもらえる。越谷をそんな街にできたら。そう語るひろ実さんの瞳が本当にうれしそうに輝いていたのが印象的でした。

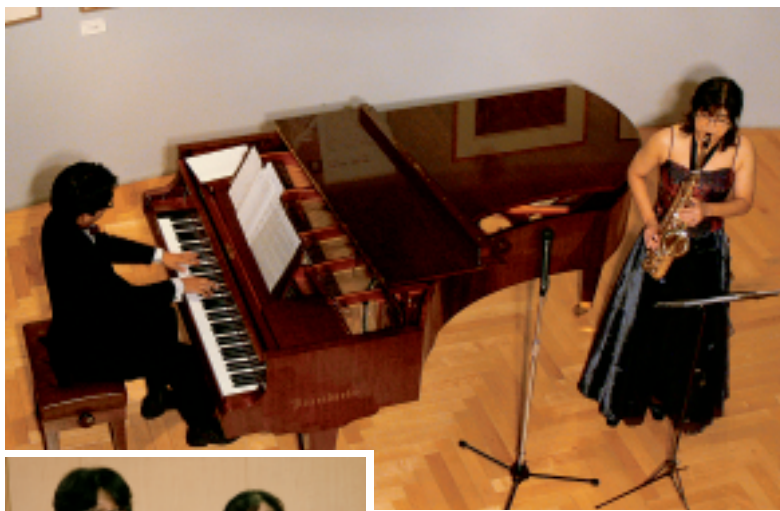
「まちかどに音楽を！」プロジェクト

「わたしたちの思いに賛同し、演奏の場を貸してくださる方、また、一緒に活動してもらえる音楽家の方や活動のお手伝いをしてい

ただける方を募集中です」。

10月には5枚目のアルバム「ルクレール ファンタジー」をリリース予定。「既成のルールへの反抗や、人間の葛藤、挫折、そしてその先に見える希望など、ロマン主義をテーマにしたながらルクレールらしいファンタジーあふれる作品になりました」。

精力的に活動を続ける「デュオ ルクレール」。越谷の街角に音楽があふれ、道行く人の心を温かく包み込む日が来るのも、そう遠いことではないかもしれません。



サククスとピアノのロマンティックサウンド
デュオ ルクレール さん



サククスとピアノという二人きりの演奏スタイルにこだわり、ホールばかりではなく、プラネタリウムや美術館などさまざまな場所をコンサート会場に変えてきた「デュオ ルクレール」。

現在の二人の夢は、場所にこだわらず、観客と触れ合える距離で演奏をし、越谷の街を音楽で満たすことだそうです。

●わくわく科学教室
 ◇「牛乳パックでめくらポストカードづくり」
 日時：11/1(日) 10:00～11:30
 対象：小学生以上(1・2年生は保護者同伴)12人
 申込み：10/20(火)9:00から

◇「ひつじからの贈り物でろう、ふわふわ小物」
 日時：11/8(日)10:00～11:30
 対象：小学生以上(1・2年生は保護者同伴)20人
 申込み：10/20(火)9:00から

◇「すてきなクリスマスキャンドルを作ろう」
 日時：12/6(日)10:00～11:30
 対象：小学生以上(1・2年生は保護者同伴)20人
 申込み：11/20(金)9:00から

◇「ほかほかホッカイロであつたまろう！」
 日時：1/10(日)10:00～11:30
 対象：小学生以上(1・2年生は保護者同伴)20人
 申込み：12/20(日)9:00から

ガイド GUIDE
児童館ヒマワリ
 開館時間 9:00～17:00
 休館日(11月～1月) 月曜日(祝日を除く) 11/24・12/29～1/3・12/26
 〒343-0842 蒲生旭町11-35

●サタデーバイオ教室
 日時：11/7・1/9・4/10の土曜日(全3回) ①10:00～11:30、②14:00～15:30
 対象：小学3年生以上各回10人
 内容：バイオテクノロジーによる植物の栽培
 持ち物：マスク、筆記用具
 申込み：10/20(火)9:00から

*教室の最終回には、自分で育てたセントポーリアを持ち帰ります

●県民の日特別イベント
 日時：11/14(土)10:00～16:00
 内容：特別映画会、英語で遊ぼう、かんたん工作、ヨーヨーつり、科学体験(スライムづくり)、パソコン体験、ミクロの世界を観る、かみしばいなど

*詳しくは「ヒマワリだより・県民の日特別イベント号」をご覧ください

ガイド GUIDE
児童館コスモス
 開館時間 9:00～17:00
 休館日(11月～1月) 月曜日(祝日を除く) 11/24・12/29～1/3・12/19
 〒343-0042 千間台東2-9

●ロボット競技会
 日時：11/21(土)13:30～15:00
 内容：中学生が自作のロボットでピンポン玉運びを競う大会

●科学実験観察フェスティバル「私たちの先生は大博士」
 日時：12/12(土)13:00～16:00
 内容：小・中学校の先生方による科学実験教室

◆県民の日わくわく特別行事
 日時：11/14(土)10:00～16:00
 内容：スペシャルサイエンスショー「コスモゼリーを作ろう!」、英語で遊ぼう、野外で遊ぼう、プラネタリウム投影、工作など

◆ミルクーママスクール
 日時：11/20(金)10:00～11:30
 内容：運動機能の発達について
 対象：開催日当日2才未満の子を持つ保護者および妊婦 25人(保育人数に限りあり)
 申込み：11/6(金)9:00から電話受け付け

お父さんと遊ぼう
 日時 ①11/7(土)10:30～11:45 ②1/9(土)10:30～11:45
 対象 1～3歳の幼児と父親または両親15組
 申込み ①10/20(火)9:00から ②12/20(日)9:00から

おはなしの広場 & 大道芸文科大学マギー
 日時 12/12(土)①13:15～13:50 ②14:00～14:40
 対象 幼児(保護者同伴)・小学生以上150人
 申込み 11/20(金)9:00から

ヒマワリマタニティ講座
 日時 11/4(水)、18(水)10:30～11:45
 対象 両日とも参加できる市内在住の妊娠中の方20人
 申込み 10/20(火)9:00から

小児の救急処置・応急手当講座
 日時 11/21(土)10:00～11:30
 対象 市内在住の小学1年生以上の小児を持つ保護者30人
 内容 救急救命士による突然のケガの対処法のお話と心肺蘇生法の実技講習
 申込み 10/20(火)9:00から

のびのび親子教室
 ◇折り紙で野菜をつくろう
 日時 11/6(金)10:30～11:30
 対象 市内在住の2歳の幼児と保護者25組
 申込み 10/21(水)9:00から電話のみ

やんちゃたいむ
 ◇こねこね小麦粉ねんどあそび
 日時 11/19(木)10:30～11:30
 対象 市内在住の3歳以上の幼児と保護者25組
 申込み 11/6(金)9:00から電話のみ

子育てサークルのみんと遊ぼう2009 & 子育てトーク
 日時 11/20(金)10:30～11:45
 対象 市内在住の2歳以上の幼児と保護者30組
 申込み 11/5(木)9:00から

ミルクーママ・スクール
 ◇栄養士による、おやつと食事の取り方などについてのお話と、簡単なおやつ作り
 日時 12/10(木)10:30～11:30
 対象 市内在住の0～2歳の乳幼児を持つ保護者20人
 申込み 11/20(金)9:00から *ボランティアによる保育あり

みんなおいでよ! キャンプごっこしよう
 日時 11/14(土)9:30～11:30
 内容 ガールスカウト埼玉県第20団のみなさんのご指導によるテント体験など

茶道教室～ちょっと体験 日本の心～
 日時 12/5(土)14:00～15:30
 対象 小学生以上12人
 申込み 11/20(金)9:00から

ヒマワリこども音楽会
 ◇東埼玉吹奏楽団
 日時 10/25(日)14:00～15:00
 ◇越谷西高校OB吹奏楽団
 日時 11/29(日)14:00～15:00

パソコン体験教室「パソコンで年賀状をつくろう」
 日時 12/19(土)10:30～11:30
 対象 小学3年生以上12人
 申込み 12/5(土)9:00から

ヒマワリ自然観察会「ハクチョウを見に行こう! 雪生沼」
 日時 1/17(日)9:00～4:30
 対象 小学生以上(3年生以下は保護者同伴)35人
 申込み 1月5日(火)9:00から

親子マジック教室
 日時 10/18(日)、25(日)、11/1(日)の全3回 いずれも10:30～12:00
 対象 3回とも参加できる小学3年生以上の親子6組(保護者可)
 申込み 10/6(火)9:00から

ザ・マジックショー
 日時 11/14(土)①14:00～14:45 ②15:15～16:00
 対象 幼児(保護者同伴)・小学生以上各回150人
 申込み 11/7(土)9:00から整理券を配布
 *共催：蒲生地区センター

●おもしろ科学教室

フルーツ味のフワフワわたあめを作ろう!
 日時 11/22(日)10:00～12:00
 対象 小学生以上20人(小学3年生までは保護者同伴)
 参加費 300円(材料代)
 申込み 11/8(日)9:00から電話受け付け

●子どもクラフト教室

素敵なクリスマスキャンドルを作ろう!
 日時 11/15(日)10:00～12:00
 対象 小学生以上15人(小学3年生までは保護者同伴)
 参加費 150円(材料代)
 申込み 11/1(日)9:00から電話受け付け

●ふれあい科学教室

光ファイバーのクリスマスツリーを作ろう!
 日時 11/29(日)10:00～12:00
 対象 小学生と保護者10組
 参加費 400円(材料代)
 申込み 11/15(日)9:00から電話受け付け

●天体観望会

日時 ①11/7(土) ②12/19(土) 18:30～20:00
 内容 ①晩秋の星空探訪～秋の星座物語と木星 ②初冬の星空探訪～おうし座とプレアデス星団
 対象 小学生～大人50人 *乳幼児の参加はご遠慮ください
 申込み ①10/24(土) ②12/5(土) 9:00から電話受け付け

●親子天体教室

日時 1/16(土)18:30～20:00
 内容 親子で協力して冬の星空の天体観測を行います
 対象 小学生以上の子どもと保護者10組
 申込み 1/5(火)9:00から電話受け付け

●プラネタリウム

日程・内容 12/13(日)まで「秋の星空と月～その神秘的な世界～」 12/19(土)から「冬の星空と輝けるアルカス」
 投影日 土曜・日曜日、県民の日、祝日開館日(平日は団体投影日)、学校冬休み期間(12/25～27、1/5～7)
 時間 ①11:00から ②14:00から ③15:30から
 観覧料 小学生以上1回100円

●親子であそびましょう!

クリスマス飾りを作ろう
 日時 12/9(水)10:00～11:30
 内容 クリスマス飾りを親子で製作(完成品は持ち帰り)します
 対象 未就学児と保護者
 申込み 当日自由参加

●スーパー竹とんぼを作ろう!

日時 11/3(祝)13:30から
 対象 幼児(幼児は保護者同伴)～小学生 25人
 申込み 当日1階工作室へ

●サイエンスショー・サイエンスクラフト

日時 土曜・日曜日、祝日、学校冬休み期間(12/25～27、1/5～7) 13:30～13:45
 内容 スライム、ストローボーン、ブーメランなど

*日時・内容については一部変更になる場合があります。毎月発行の「コスモスだより」でご確認ください
 *事前に予約が必要な行事については、受付初日の午前中は電話のみの受け付け、午後からは、窓口でも受け付けます
 *定員のある行事は申込み順になります

「くもんの先生」をはじめませんか。
 ●実子の学習は無料 ●充実した研修制度 ●安心のサポート体制
 (ご自身で指導される場合) ■まずは、説明会にご参加ください■

お問い合わせ先、詳しい資料をご希望の方は
TEL0120-834-414
日本公文教育研究会
 越谷事務局 越谷市南町14-22 住友生命越谷ビル4F
 パソコン検索可能なホームページは
くもんの先生
 携帯サイトへはこちら
<http://kumon.jp/inst/>

会場	日程
日本公文・越谷事務局 (住友生命越谷ビル4F)	11月24日(火) 12月17日(木)
宮代町修徳館	11月30日(月)
春日部市民文化会館	12月3日(木)
久喜総合文化会館	12月8日(火)
草加市文化会館	12月18日(金)

KUMON

教育教材・木製知育玩具・構成玩具
 ○×が書けるようになったら ちえもじ・かずの
七田式プリントA/B/C
 やさしい繰り返しで2歳から6歳の幼児期に必要な知識を学びます。
 就学前の総合プリント始めませんか?
エジソンのたまご 産業道路(115)沿いマクドナルド越谷南町店並び
 ドールハウスやおもちゃもたくさんあります! プレゼントには是非御利用下さい!!
 〒343-0832 越谷市南町2-11-5 TEL&FAX:048-961-4066
 URL:<http://www.ejisonnotamago.com/>
 店舗営業時間:11時～18時30分 定休日:月曜日(祝日は営業)

ヤマハ音楽教室/英語教室
 教室体験・見学できます!!
 ピアノや調律・防音室、楽器相談・進路相談もすべてお任せください!
YAMAHA 特約店
和幸楽器 越谷店
 越谷市越ヶ谷2-8-1(市役所そば)
 TEL048-964-8411
<http://www.wako-gakki.co.jp/>

ひな人形 五月人形
 日本の伝統を今に伝える
人形の佐倉
 048-961-6333
 越谷市東町3-205-1 専用駐車場完備
 越谷レイクタウンそば

こしがや行事予定

日程は変更になる場合があります
時間などのお問い合わせは広報広聴課 ☎963-9117へ

11月

全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉2009」

■10月30日(金)～11月3日(祝)

さいたまスーパーアリーナ

まなびピア埼玉2009 in 越谷

越谷市生涯学習フェスティバル

■1日(日) 中央市民会館および周辺

こしがや能楽の会

■1日(日) こしがや能楽堂

ライフチャレンジ・ザ・ウオーク

■1日(日) 中央市民会館いきいき館

消防特別点検

■8日(日) 出羽公園

環境大会・こしがやエコバザール2009

■8日(日) 中央市民会館劇場・広場

県民の日のイベント

■14日(土) 児童館コスモス・ヒマワリ、花田苑、野鳥の森

大間野町旧中村家住宅開館記念イベント

■15日(日) 大間野町旧中村家住宅
■15日(日) 東埼玉資源環境組合第一工場



こしがや産業フェスタ



市内駅伝競走大会



ちびっこクリスマスフェスティバル

12月

市民文化祭

■20日(金)～23日(祝) サンシティ

こしがやスポーツ・レクリエーションフェスティバル2009

■23日(祝) 市内体育施設

平和展

■26日(木)～30日(月) サンシティ

こしがや産業フェスタ2009

■28日(土)・29日(日) 市内総合体育館周辺(増林)

平和講演会

■29日(日) サンシティ

おかめ市

■2日(水) 香取神社(大沢)

ちびっこクリスマスフェスティバル

■6日(日) 児童館ヒマワリ

市内駅伝競走大会

■6日(日) 市内駅伝コース

ちびっこクリスマスフェスティバル

■13日(日) 児童館コスモス

縁起市

■15日(火) 久伊豆神社(越ヶ谷)

1月

元旦マラソン大会

■1日(祝) 市内元旦マラソンコース

花田苑・野鳥の森無料開園

■1日(祝)・2日(土)

成人式

■10日(日) 市内11会場

オビシヤ

■10日(日) 川崎神社(北川崎)

新春スペシャル・サイエンスショー

■10日(日) 科学技術体験センター

花フェスタ

■16日(土) 新越谷駅コンコース



成人式



オビシヤ

INSIDE STORY 楽屋裏

標高の高い山では、雪の便りが聞かれる季節になりました。思えば今年の夏は、だいぶ過ごしやすかったのではないのでしょうか。その反面、日照不足や雨量の増加などにより農作物に影響が出たり、インフルエンザが流行しました。インフルエンザは冬の感染症と思いがちですが、ここ数年、春や夏からはやる傾向が見られます。これからさらに感染が拡大するといわれていますので、予防に努め感染を防ぎましょう。私にとっての秋は、食欲の秋！暴飲暴食に気を付け、体調管理を万全に広報紙づくりに励んで！いきたいと思いません。(さ)